

# ひまわりからの メッセージ

127号

2022. 4. 11.

NPO ひまわりの花内  
西濃園城

発達障がい支援センター

発行人: 中野にみ子

## がんばり

すげえすに……



空が白みはじめる頃に起き、少し書きものをしたり考えごとをしたりしていると、あちこちから小鳥のさえずりが聞こえ、寺の鐘が六時を告げます。さあ、朝食の準備にとりかかうと厨房に立つのが、私の一日の始まりです。

冬から春にかけて自然は様変わりしてきます。クリスマスローズが茎を伸ばし、梅の花が咲き終わったと思えば木蓮のつぼみがふくらみはじめ、水仙やヒヤシンス、チューリップ、貝母が咲き、気づくと雪柳や蘇枳が「私たちも見てい」と存在を主張するかに咲きはじめています。

こんな平凡な日常を送る私ですが、昨今のウクライナのニュースには心が痛みます。それぞれの国には長い歴史があるのは当然ですが、穏やかな日常を奪われたウクライナの人々のことに思いを馳せると、いたたまれない気持ちになります。数日前にはロシアの高官が北海道の領土権について言及していま

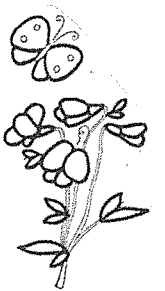
したが、平和を脅かされる日が来ないとも限らない。そんな不安も胸をよぎります。

あれこれ考えながらテレビをつけると、旅番組をやっていた。江の島電鉄で鎌倉を訪ね、苔について研究をしている方を紹介していたのです。鎌倉は寺が多く、寺の石段などにはえている苔を十倍のルーペで見るとどの様に見えるのか映像で見せていました。小さな葉がきれいに並んで緑の美しい苔、葉が透けて見える苔など様々な種類の苔がありました。中には、こげ茶色をした苔があって、もう枯れてしまっているのだろつと思われたのですが、苔の研究者の方が「ちょっと待って下さい」と言って雨の代わりに水を与えられたのです。すると何と美しい緑に変わりました。その方は、こう言われました。「苔は雨が降るのをじっと待つ眠っているのです。がんばりせずに時を待ち、やがてその時が来ると(雨が降ると)目を覚まして活動を始めるのです」と。

「がんばりせずに時を待つ」とは、自然界の営みなのだろうが、人は違います。叱咤激励されてがんばろうとします。時には自分の力以上のことをやろうとして、頑張りすぎて心が折れてしまうこともあるでしょう。苔の映像をながめながら子ども達のことを想いました。刻々と変わっていく世界情勢も気になります。子ども達は新年度にどんなスタートを切ったのでしょうか。新しい環境の中で頑張りすぎず心豊かに過ごしてほしい。私の願いです。

# ピア・サポートって

何だろう……？



先月号に私はピア・サポート事業を始めますと書き  
ました。それって一体何でしょうか？

県の障害福祉課から送られてきた実施要項による  
と、その目的は次のように書かれています。

「ライフステージを通じた切れ目のない発達障がい者への  
支援を行うため、相談支援に加えて、主に成人期の発  
達障がい者本人同士が悩みを打ち明け合うなどの居場所  
を提供し、社会との繋がりを保つことを目的とする」。

さて、この文言を皆さんはどの様に解釈されるでしょうか。

私は正直に申し上げると悩みました。何故なら、この文章は  
自分が発達障害者であるという自覚をもっておられる成人と  
考えられるからです。でも、そういう方々はどの位いらっしゃる  
のでしょうか。むしろ、分からないままに苦しみ、家に引きこも  
ておられる方がはるかに多いのではないのでしょうか。

発達障害者支援法が制定され、県内に発達障害の支援  
センター「のぞみ」が開設し、次の年には県内各圏域に圏域発

達障がい支援センターが発足しました。西濃圏域では、当初  
は大垣市立ひまわり学園に置かれ、現在ではNPOひまわ  
りの花が県からの委託を受けて活動しています。

支援センターは各市町の関係機関の連携のお手伝いをさ  
せていただき、子どもたちが乳幼児期から途切れのない支援が  
受けられるように、サポートブックの普及や各機関との引き  
つぎ、保護者の子育てを共に考え、保護者同士の連携や学  
び合いを大切に考えてきました。

こども園や幼稚園、小学校中学校への巡回、教育支援委員  
会への参加、心理検査、保護者・学校の相談等を通して、この  
十数年で少しずつ特別支援教育に対する理解が広がってき  
ているように思います。発達障がいについても多くの人が見  
聞きし、知ろうとすることも増えてきていると感じます。

では、当の子どもたちはどうでしょうか。サポートブックを持っ  
てはいるけれど、それは保護者の手において、当の子どもた  
ちには知らされていないことが多いように思います。別に診  
断名がどうこう言うつもりはありませんが、「あなたに苦手  
とする所って○○だね」「そこを先生たちがこんなふうに  
教えてくれたり支えてくれるよね」くらいの会話が家庭  
でなされても良いと思います。「皆と同じでいたいと子ども  
が言うのでサポートブックは無かったことにして下さい」と言わ

れる方に反論はしませんが、大人になった時に、「自分がして  
もらったこと」「して返したこと」「迷惑をかけたこと」を内観  
していくことなどといった心理療法もあるのです。子育てとは  
子どもたちが大人になっていく過程で自分がどう生きる  
か、子ども自身が自己認知していくのがある時は支え、あ  
る時は見守りつつ親は親として成長していくことなのではな  
いかなあーと考えたりします。良い所も良くない所もあ  
り、人より劣る所もたくさんあって生きていますよね。私な  
んか、人にしてもらったことが本当にたくさんあって、今も  
助けてもらっているのですが、私に SOS を求められて困っ  
ている方もおそらく多いと思うのです。

少し本筋からずれてしまいましたが、子どもたちの中には  
自分の困りをよく分かっていない場合の方が多いように思っ  
ています。

登校しづりが始まり、不登校になり、だんだん生活リズムも  
乱れ、外に出なくなったりケースもあるでしょうし、高校や大学に進  
んだものの生き難さがあり、友人もなく、ゲームに没頭するよ  
うになった人もいますでしょう。ピア・サポート事業の目的とし  
て居場所づくりのためには、まず、社会とのつながりが  
希薄になってしまった人たちが、どの位いらっしやるのか、その  
人たちが何を求めているのか知らなくてはならないと

思うのです。

西濃は二市九町あります。幸いどの市町も乳幼児期から義  
務教育終了までの子どもたちのことについて、連携が進み、保護  
者をまじえその引きつぎ会や他機関と連携したケース会議など  
も行われてきています。ですから、これをもう一歩進めて義務  
教育後の支援へと広げていくことはできないだろうかと思ってい  
ます。そのためには、相談支援事業所や教育研究所、高校  
や大学、行政機関、親の会などより多くの機関や人々のつな  
がりが必要になってくるでしょう。

居場所づくりに行きつくまでには、まず私たちのことを知って  
いただく必要があります。県からは、オンラインでのピア・サポ  
ートも推奨されていますが、地道な関係づくりが大切だと思っ  
ています。市町によつては、公報で相談日の案内のお知らせを準備  
していたっている所もあり、ご一緒に活動を展開していけるの  
ではないかと考えています。

また、高校等に進まれた方については、不登校の担当の  
先生と一緒に学校訪問を予定しています。今後の問題として  
社会とのつながりを絶ってしまうのではないかと危ぶまれる人  
たちと早目にラポールを作っておくことも必要ではないかと考  
えるからです。

そして、これは「ひまわりからのメッセージ」をお読みいただ

いている皆さんにお願いです。左記のようなお困りの方がいら  
っしゃいましたら、是非支援センターをご紹介下さい。

就労に関しては、あゆみの家の発達障害コンサルジュと連  
携していきます。

- ・誰かに相談したい。  
でもどこに相談したら  
いいかわからない。
- ・学校をやめて家にいる。
- ・以前は買い物くらいは  
行けたけど、今は……。
- ・苛々すると親に暴力。
- ・就労したいけど……。
- ・この生き難さを  
何とかしたい。

連絡先

0584-84-8350

必ず留守電を残して下さい。

090-9228-7395

090-6358-6049

必ずショートメールを！  
出られない時は折り返します。

ただし、大垣、揖斐川、養老の方は、毎月の相談会が開かれ  
ますので、そうらうにご連絡下さってもかまいません。

とりあえず、各市町での相談という形で始めようと思いますが、  
だんだんに発展して、多くの方がオンラインや対面で出会い、悩み  
を打ち明けたリ、アドバイスし合えたりできるようになれば、又、み  
なさんのお力をお借りすることもあると思います。その時はどう  
ぞよろしくお願いします。

ちなみにオンラインピアサポートには、県からパソコンがお借り  
できるそうですよ!!(ご報告まで)

子ども達のこと。

どうなるのですか？



ある方から、こんな声が寄せられました。もちろん今まで通りや  
っていきます!! 私は、子どもたちの育ちこそが大事だと思っ  
ていますのでどうか、お声をかけて下さい。一緒に考えさせてい  
ただけたら嬉しいです。

新しいメンバーに

田村公美子先生をお迎えしました!!

長らく教員をされていて、ご存知の方も多いと思います。

大垣市の発達支援ネットワークにも在籍されていました。

今年度からは「地域支援マネジャー」として活動されます。

引きつづき、

川口町子先生、西田依子先生、北川美恵子先生にも

ご協力いただく予定です。よろしくお願いします。



お知らせ

親の会例会は五月九日(月)スイトピアセンター6-2です。  
どなたでも参加可能ですので、どうぞいらして下さい。